

# MATSUDOING 2050

MATSUDOING2050 ～わたしがつくる!まつどのみらい～ワークショップは、「30年後の松戸駅周辺はこんな風になって欲しい」「こういうシーンが欲しい」「こんな空間はどうだろう」、こうした地域の皆さんの考えや思いをいただき、市民と市の若手職員が今後のまちづくりを共に考え、作り続けるワークショップです。

コンダクター  
キーノート  
横張真(東京大学教授)  
宮城俊作(東京大学教授)  
秋田典子(千葉大学准教授)  
藤村龍至(東京藝術大学准教授)

まちづくりデザインマップについて  
First Stageでの議論を踏まえ、まちづくりデザインマップ001案に統合し、Second Stageでは、公共空間・都市防災・民間事業といった視点で参加者が議論し、その成果でデザインマップを更新する試みを行いました。

令和元年  
8/31  
11/3  
11/23  
12/24  
令和2年  
1/18  
2/29  
Next Stage

**WS 01**  
「まつど全体の将来像について考える」  
レクチャー:西村幸夫氏(神戸芸術工科大学教授)  
→まつどのまちの歴史的背景や現状認識(強み・弱み)、30年後を見据えた将来像



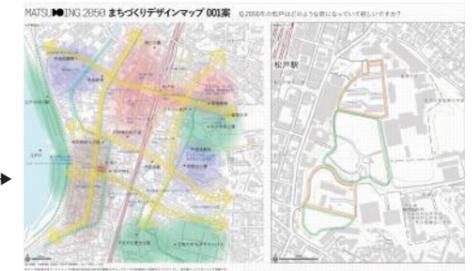
アイデアを空間に結びつけるため  
模型へアクティビティをプロット

**WS 02**  
「松戸駅周辺での過ごし方について考える」  
・新しいライフスタイルについて考える」  
レクチャー:秋田典子氏/清水陽子氏(科学と芸術の丘総合ディレクター)  
→まちでの新しい過ごし方、実現に必要な施設や場所、サービス



統合練習案

清書



まちづくりデザインマップ001案  
>第3回の各班の成果の特徴をピックアップした統合案

※ 台風19号の影響により、第2回以降を順延  
**WS 03**  
「新拠点ゾーンの空間について考える」  
・新しいサービスを提供する施設への期待」  
レクチャー:宮城俊作氏/内田雅敏氏(雅経営サポート事務所)  
→過ごし方のまとめ、過ごし方実現に向けた取り組むべきこと

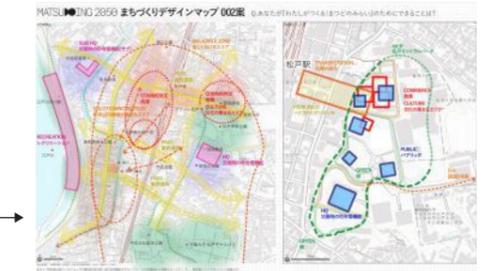
**WS 04**  
「機能から考える」  
・これからの公共空間にふさわしい機能とは」  
レクチャー:柳澤要氏(千葉大学教授)/廣井悠氏(東京大学准教授)  
→松戸駅周辺(公共含む)に必要な機能と必要な空間(施設等)について



WS04統合案

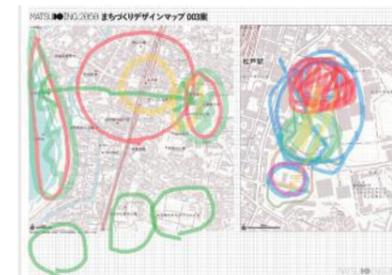


WS05まちづくりガイドマップ001案  
>参加者が民間事業者の視点で、  
駅周辺での新しいお店を提案

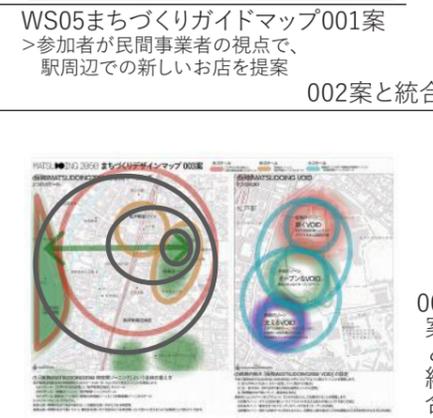


まちづくりデザインマップ002案  
>001案を下地に、新しい公共機能を上書き

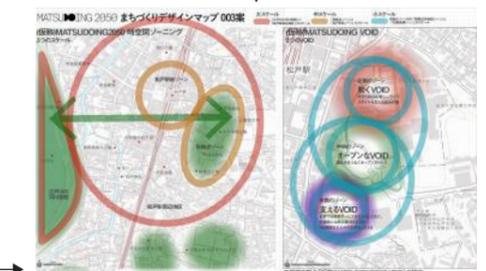
**WS 05**  
「まちをひとから考える」  
・『わたしがつくる!まつどのみらい』のためにできることは」  
レクチャー:森純平氏(東京藝術大学特任助教)  
→実際に活動する立場(プレイヤー)目線から考える取り組み



WS06意見募集①+専門家シャレット①



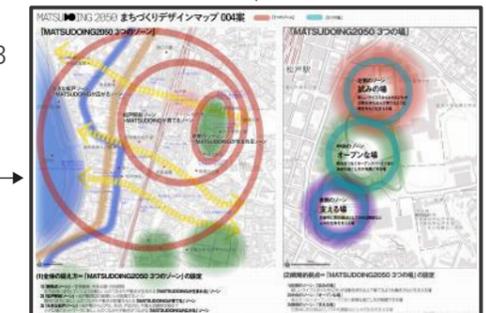
WS06意見募集②+専門家シャレット②



まちづくりデザインマップ003案  
>参加者からの意見に加え、現在の社会情勢を踏まえ、  
専門家からの駅周辺・新拠点ゾーンの捉え方の提案

**WS 06**  
「もう一度、まちづくりを考える」  
・『わたしがつくる!まつどの公共空間』とは」  
対談:岡本真氏(アカデミック・リソース・ガイド)×藤村龍至氏  
→機能、過ごし方、取り組み等をもう一度、視野を広げて考える

※ 新型コロナウイルス感染症の流行によりオンラインによる実施へ



まちづくりデザインマップ004案  
>参加者の意見を踏まえ、003案をベースに表現を修正、  
新拠点ゾーンから駅周辺地域への広がりを表現

Next Stage  
MATSUDOING2050プロジェクト第1弾としてのワークショップは  
First Stage・Second Stage(全6回)で一区切りとなりますが、  
今後、ワークショップも含め様々な市民参加プロジェクトを  
引き続き継続していく予定です。

活動内容は松戸市HPや公式Facebookで公表するとともに、  
新たな取り組みにおいても共有させていただきます。